



金沢市公報

第2536号

平成18年(2006年)11月21日

〒920-8577

金沢市広坂1丁目1番1号

発行所 金沢市役所

(題字 山出金沢市長)

◎ 目 次	ページ
● 告 示	
○結核予防法の規定に基づく指定医療機関の指定について (地域保健課)	1
○平成8年告示第24号(騒音規制法の規定による指定地域に係る時間の区分及び区域の区分ごとの規制基準の設定について)等の一部改正について (環境保全課)	1
● 公 告	
○国土調査法の規定に基づく地籍調査により作成した地図及び簿冊の閲覧について (農林総務課)	2
○金沢市農業振興地域整備計画の変更について ()	2
○予防接種を行うことについて (駅西福祉健康センター)	2
○浄化槽保守点検業者の登録事項の変更について (環境保全課)	3
● 監査公表	
○監査公表(第30号) (監査事務局)	3
● 農業委員会告示	
○第593回金沢市農業委員会農地部会の招集について (農業委員会事務局)	18
○第7回金沢市農業委員会農政振興部会の招集について ()	18

告 示

●金沢市告示第289号

結核予防法(昭和26年法律第96号)第36条第1項の規定により、指定医療機関として次の医療機関を指定したので、結核予防法施行令(昭和26年政令第142号)第2条の5第1項の規定により告示します。

平成18年11月21日

金沢市長 山 出 保

名 称	所 在 地	開 設 者	指 定 年 月 日
中村医院	金沢市黒田1丁目188番地	中村 喜久	平成18年11月8日

●金沢市告示第290号

平成8年告示第24号(騒音規制法の規定による指定地域に係る時間の区分及び区域の区分ごとの規制基準の設定について)、平成8年告示第25号(特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準の規定による区域の指定について)、平成8年告示第28号(振動規制法の規定による指定地域に係る時間の区分及び区域の区分ごとの規制基準の設定について)及び平成8年告示第29号(振動規制法施行規則の規定による区域の指定について)の一部を次のように改正する。

平成18年11月21日

金沢市長 山 出 保

平成8年告示第24号備考第3号イ、平成8年告示第25号第2号イ、平成8年告示第28号第3号イ及び平成8年告示第29号第2号イ中「第7条」を「第7条第1項」に改める。

公 告

湯涌第4地区の土地について、国土調査法（昭和26年法律第180号）の規定により地籍調査を行い、その結果に基づいて地図及び簿冊を作成したので、同法第17条第1項の規定により次のとおり公告し、当該地図及び簿冊を一般の閲覧に供します。

なお、この地図及び簿冊に測量若しくは調査上の誤り又は国土調査法施行令（昭和27年政令第59号）第6条に規定する限度以上の誤差があると認める者は、閲覧期間内に、本市に対してその旨を申し出ることができます。

平成18年11月21日

金沢市長 山 出 保

地図及び簿冊の名称	閲覧期間	閲覧時間	閲覧場所
東市瀬町イ、ロ、ハ、ニ、チ、ラ、ム及びウ、東荒屋町イ、ロ及びハ、七曲町ハ及びニ並びに茅原町ロ	平成18年11月21日から 12月11日まで（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）	午前9時から 午後5時30分まで	金沢市産業局 農林部農林総務課

農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）第13条第1項の規定により、金沢市農業振興地域整備計画を平成18年11月21日に変更したので、同条第4項において準用する同法第12条の規定により公告し、当該変更後の金沢市農業振興地域整備計画書を金沢市産業局農林部農林総務課において縦覧に供します。

平成18年11月21日

金沢市長 山 出 保

予防接種法（昭和23年法律第68号）第3条第1項の規定による予防接種を行うので、予防接種法施行令（昭和23年政令第197号）第5条の規定により、次のとおり公告します。

平成18年11月21日

金沢市長 山 出 保

- 1 予防接種の種類
インフルエンザ
- 2 予防接種の対象者の範囲
 - (1) 65歳以上の者
 - (2) 60歳以上65歳未満の者であって、心臓、じん臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として予防接種法施行規則（昭和23年厚生省令第36号）第2条の2に規定するもの
- 3 予防接種を行う期間
平成18年10月21日から同年12月31日まで
ただし、平成18年12月21日から同月31日までに65歳になる者及び心臓、じん臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として予防接種法施行規則第2条の2に規定するもののうち平成18年12月21日から同月31日までに60歳になる者については、接種期間の終期を平成19年1月13日とする。
- 4 予防接種を行う場所
別表のとおり
- 5 予防接種を受けることが適当でない者
 - (1) 当該予防接種に相当する予防接種を受けたことのある者で、当該予防接種を行う必要がないと認められるもの
 - (2) 明らかな発熱を呈している者
 - (3) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
 - (4) 当該疾病に係る予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者

- (5) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた者
 (6) 今までに免疫不全の診断がされている者
 (7) (1) から (6) までに掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

別表

予防接種を行う 医師の氏名	予防接種を行う主たる場所		
	医療機関名	所在地	
野村 英樹 川野 充弘 山田 和徳 小寺 里佳	井村内科医院	白山市	美川北町ヲ67番地
坂元 裕一郎	金沢聖霊総合病院	金沢市	長町1丁目5番30号
井本 敏弘 山嶋 哲盛	南ヶ丘病院	金沢市	馬替2丁目125番地

金沢市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例(昭和60年条例第36号)第6条第2項において準用する同条例第4条第1項の規定により、次の者の浄化槽保守点検業者登録簿を変更登録したので公告します。

平成18年11月21日

金沢市長 山 出 保

登録番号	名 称	住 所	変更登録年月日
16	金沢市清掃株式会社	金沢市東力2丁目47番地48番地	平成18年11月7日

監 査 公 表

●金沢市監査公表第30号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第1項、第2項及び第4項の規定により実施した財務事務監査及び行政監査の結果に関する報告を次のとおり決定したので、同条第9項の規定により当該報告を公表します。

平成18年11月21日

金沢市監査委員 山 形 紘 一
 金沢市監査委員 中 島 秀 雄
 金沢市監査委員 上 田 忠 信
 金沢市監査委員 増 江 啓

1 監査の対象局課

教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

2 監査を執行した監査委員

山形紘一、中島秀雄、上田忠信、増江 啓

3 監査の範囲

平成18年度の事務事業(ただし、必要と認められた平成17年度以前の事務事業を含む。)

4 監査の期間

平成18年8月21日から同年11月6日まで

5 監査の対象項目

(1) 行政監査項目

青少年教育施設の管理運営について

(2) 財務監査事務項目

行政監査項目に関する財務事務

6 監査の方法

青少年教育施設の管理運営事務が効果的かつ効率的に行われているかどうか、また、その財務事務が適正かつ経済的に執行されているかを主眼において、あらかじめ必要があると認められる監査資料の提出を求め、関係帳票類の照合、通査及び関係職員から説明を聴取するとともに、施設の管理状況等についての実査により監査を行った。

(1) 監査の対象

青少年の自主性・協調性の育成や市民の自主的学習活動推進などを設置目的とする次の施設の管理運営を監査の対象とした。

ア 長町研修館

イ キゴ山ふれあいの里研修館

ウ キゴ山少年自然の家

エ キゴ山天体観察センター

オ キゴ山自然学習館

カ 土子原こども野外広場

(2) 監査の着眼点

ア 施設の効果的かつ効率的な管理運営がなされ、設置目的に添った利用が図られているか。

イ 利用者ニーズに応えた利用しやすい施設となっているか。

ウ 管理運営収支及び財務事務が適正かつ経済的なものとなっているか。

(3) 主な監査資料

使用申請書、減免申請書、歳入調定簿兼収入原簿、公金払込書兼領収証書、支出負担行為伺書、財産台帳

7 監査の結果

次のとおりである。

教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

「青少年教育施設の管理運営について」

1 長町研修館

(1) 概況

設 置 の 目 的	金沢市民の自主的な学習、研修、文化活動等を促進することにより、市民の教養の向上を図り、もって社会教育の振興に資するため
所 在 地	長町2丁目2番43号
開 設 年 月 日	平成元年4月1日
施 設 規 模	鉄筋コンクリート造4階建 2,777.85㎡
主 要 施 設 (利用料を徴収するもの)	学習室5室、和室、集会室2室、小会議室、料理実習室、視聴覚室、音楽室、美術工作室、プレイルーム、松声庵
開館日及び開館時間	火曜日～日曜日（ただし、月曜日が休日に当たるときは、その月曜日は開館） 火曜日～土曜日は午前9時～午後9時、日・祝日は午前9時～午後5時
休 館 日	月曜日（その日が休日に当たるときは、その日の翌日）、12月29日～1月3日
使 用 対 象 者	市民
使 用 料	学習室の基本料（9:00～12:00）1,150円、（13:00～17:00）1,680円、 （18:00～21:00）2,100円、（9:00～21:00）4,200円など
使用申込の方法	インターネットで仮予約（使用申請）し、使用承認を受ける。

(2) 管理運営体制

館長（非常勤職員）のほか、職員2名、非常勤職員2名の5人体制であり、開館日は、ローテーションにより、火～金曜日が午前4人、午後5人、夜間1人（他に人材派遣1人）、土曜日が午前3人、午後4人、夜間1人（他に人材派遣1人）、そして、日・祝日が午前1人、午後1人の管理運営体制となっている。また、閉館時間帯及び休館日は業者委託による機械警備となっている。

(3) 利用状況

事業別の利用状況は、次表のとおりであり、市民の自主的な学習活動に資する貸館事業が主体となっている。なお、平成17年度の貸館事業における1登録団体当たりの平均年間利用回数は、11.2回となっている。

(単位：回・人・団体・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月
主催 事業	実施回数	133	121	△9.0	125	3.3	11
	参加者数	3,527	3,251	△7.8	3,890	19.7	406
共催 事業	実施回数	1	11	1,000.0	11	0.0	－
	参加者数	2,000	2,000	0.0	1,300	△35.0	－
貸館 事業	利用団体数(登録)	532	585	10.0	506	△13.5	514
	利用回数	5,619	6,027	7.3	5,680	△5.8	1,815
	利用者数	65,484	66,389	1.4	62,680	△5.6	19,385
合計	利用回数	5,753	6,159	7.1	5,816	△5.6	1,826
	利用者・参加者数	71,011	71,640	0.9	67,870	△5.3	19,791

また、時間帯別の利用状況を見ると、午前、午後、夜間の区別なく、盛んに利用されている。

(単位：回・人・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月
午前9時 ～正午	利用回数	2,014	2,117	5.1	2,029	△4.2	641
	利用者数	29,990	28,316	△5.6	27,348	△3.4	7,891
午後1時 ～5時	利用回数	2,706	2,686	△0.7	2,576	△4.1	817
	利用者数	38,611	35,685	△7.6	33,771	△5.4	9,529
午後6時 ～9時	利用回数	1,723	1,914	11.1	1,680	△12.2	496
	利用者数	18,102	18,662	3.1	16,913	△9.4	4,651
計	利用回数	6,443	6,717	4.3	6,285	△6.4	1,954
	利用者数	86,703	82,663	△4.7	78,032	△5.6	22,071

(注) 全日利用者等は時間区分毎にそれぞれ数えており、実利用者数とは一致しない。

一方、主催事業の実施状況は、次表のとおりとなっており、18年度からはあすなろ学級(養護学校等の卒業者を対象)のみとなっている。

(単位：回・人)

区 分	平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月
実施回数	133	121	△9.0	125	3.3	11
延参加者数	3,527	3,251	△7.8	3,890	19.7	406
主な事業名及び参加者数	あすなろ学級 延1,193人 教養講座 サタデーシネマ ヤングワーカー ズクラブ 青少年世界ふ れあいトーク IN長町 以上 延2,334人	あすなろ学級 延1,459人 教養講座 サタデーシネマ ヤングワーカー ズクラブ 以上 延1,792人		あすなろ学級 延1,966人 教養講座 サタデーシネマ 以上 延1,924人		あすなろ学級 延 406人

なお、茶席利用の松声庵の利用状況は、次表のとおりとなっている。

(単位：団体)

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
			増減比率	4月～7月
利 用 団 体 数	43	25	△41.9	5

(4) 管理運営収支の状況

管理運営に係る収支の状況は次表のとおりであり、平成17年度の支出額は53,067,746円で、このうち職員等人件費が33,014,699円（構成比62.2%）、建物維持管理等の運営経費が20,053,047円（構成比37.8%）となっている。一方、収入額は839,464円で、このうち施設の使用料については、市内の青少年団体や女性団体あるいは自主的な活動を行う市民団体の使用が条例により無料ないし全額減免となることから有料使用が限られ、312,760円と少額なものになっている。

(単位：円・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月
				増減比率	増減比率	
支出	報 償 費	559,500	444,000	△20.6	420,000	△5.4
	消耗品費	1,023,329	766,358	△25.1	644,319	△15.9
	光熱水費	3,740,580	3,670,555	△1.9	3,350,943	△8.7
	修 繕 料	812,845	2,053,611	152.6	3,218,250	56.7
	委 託 料	14,004,720	12,269,468	△12.4	11,509,767	△6.2
	そ の 他	1,840,209	1,164,587	△36.7	909,768	△21.9
	計	21,981,183	20,368,579	△7.3	20,053,047	△1.5
	職員等人件費	40,684,314	36,797,200	△9.6	33,014,699	△10.3
計(ア)	62,665,497	57,165,779	△8.8	53,067,746	△7.2	
収入	使 用 料	442,280	373,550	△15.5	312,760	△16.3
	そ の 他	656,894	547,449	△16.7	526,704	△3.8
	計(イ)	1,099,174	920,999	△16.2	839,464	△8.9
差引(イ) - (ア)		△61,566,323	△56,244,780	△8.6	△52,228,282	△7.1

(5) 施設管理

施設の維持管理の状況について、エレベーターを設置するなどバリアフリー対応がなされており、また、早急に修繕を要する破損箇所は見あたらなかった。

(6) 利用促進対策等

生涯学習施設利用予約システムを平成15年度に導入し利用者の利便を図っているが、利用者ニーズを把握するご意見箱の設置や利用登録団体へのアンケート調査は行っていない。

2 キゴ山ふれあいの里研修館

(1) 概況

設 置 の 目 的	医王山麓キゴ山の豊かな自然環境の中で、人と人、人と自然とのふれあいを通して、心身ともに健全な青少年の育成と市民の農林業などへの理解を深めるため
所 在 地	小豆沢町ヲ4番地
開 設 年 月 日	昭和63年4月30日
施 設 規 模	本 館：鉄筋コンクリート造3階建 3,082.66m ² 体 育 館：鉄筋コンクリート造平屋建 914.96m ²
主 要 施 設	主要施設：宿泊室20室（定員152人…1室当たり2段ベッド4台～2台設置）、研修室9室、食堂、浴室、体育館 野外自然活用施設：体験農園、緑地広場、ウッドアスレチック、動物舎、あけぼの広場、あやめ園等
休 館 日	月曜日（その日が休日に当たるときは、その日の翌日）、12月29日～1月3日
使 用 対 象 者	自主的な研修計画をもつ青少年の団体、主催事業の参加者、その他市長が認めた者
使 用 料	宿泊使用料：青少年 520円、一般 1,050円
使 用 申 込 の 方 法	利用する日の1年前の日の属する月の初日から申込みを受付する。

電話等で仮申込みのうえ、使用承認申請書等を提出する。

(2) 管理運営体制

館長はキゴ山少年自然の家館長と兼務しており、開館日には、職員9名(事務4名、技能労務5名)、非常勤職員1名の10人体制で運営しているが、研修指導員は配置されていない。

また、宿泊のある日の夜間は正規職員2名が当直にあたり、宿泊のない開館日の夜間及び休館日は業者委託による機械警備となっている。

(3) 利用状況

事業別の利用状況は、次表のとおりとなっており、利用者別では、小・中学校や青少年団体の利用よりも大学や地域団体など成人の利用が多くなっている。

また、宿泊体験型施設の主流となる宿泊研修利用者が、近年、減少している。

(単位：人・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
				増減比率	増減比率		
日帰り 研修	学 校	831	1,135	36.6	666	△41.3	222
	小学校	—	64	—	30	△53.1	—
	中学校	—	—	—	—	—	—
	大学等	831	1,071	28.9	636	△40.6	222
	社会教育関係団体	452	536	18.6	593	10.6	144
	青少年団体	455	492	8.1	395	△19.7	122
	地域団体等	428	406	△5.1	339	△16.5	228
	小 計	2,166 (59団体)	2,569 (57団体)	18.6	1,993 (54団体)	△22.4	716 (25団体)
宿泊 研修	学 校	6,234	5,760	△7.6	4,779	△17.0	1,656
	小学校	218	28	△87.2	262	835.7	—
	中学校	543	537	△1.1	379	△29.4	128
	大学等	5,473	5,195	△5.1	4,138	△20.3	1,528
	社会教育関係団体	1,198	991	△17.3	871	△12.1	65
	青少年団体	2,093	2,174	3.9	1,422	△34.6	451
	地域団体等	997	1,118	12.1	1,379	23.3	250
	企業団体	676	948	40.2	422	△55.5	533
小 計	11,198 (236団体)	10,991 (228団体)	△1.8	8,873 (197団体)	△19.3	2,955 (67団体)	
研修計		13,364 (295団体)	13,560 (285団体)	1.5	10,866 (251団体)	△19.9	3,671 (92団体)
その他	主 催 事 業	4,503	4,961	10.2	5,455	10.0	573
	そ の 他	887	537	△39.5	1,706	217.7	248
	計	5,390	5,498	2.0	7,161	30.2	821
合 計		18,754	19,058	1.6	18,027	△5.4	4,492

(注) 宿泊研修者数は延人数である。

平成17年度における宿泊利用状況は、県内の宿泊体験型青少年教育施設と比べると、次表のとおり、キゴ山ふれあいの里研修館の宿泊利用率は18.4%と下位にある。

平成17年度における県内類似施設の利用状況

(単位：日・人・%)

区 分	開館日数	宿泊者延人数	宿泊利用率	備 考
国立能登青少年交流の家	352	62,625 (平均宿泊数1.75泊/人)	44.5	宿泊定員 400人
石川県立白山青年の家	231	7,449 (平均宿泊数1.55泊/人)	20.2	〃 160人、 4～6月改築のため休館

能美市根上青年の家	304	4,798 (平均宿泊数1.36泊/人)	19.7	〃 80人
キゴ山ふれあいの里研修館	318	8,873 (平均宿泊数 統計なし)	18.4	〃 152人
小松市立大杉青年の家	306	3,001 (平均宿泊数1.71泊/人)	14.0	〃 70人

(注) 宿泊利用率：宿泊者延人数 ÷ (宿泊定員 × 開館日数)

(参考) 県内類似施設の利用料金

(単位：円)

区 分	宿 泊 料	食 事 料	そ の 他
石川県立白山青年の家	高校生以下 340 一 般 760	朝食 350、夕食 640 昼食 470	冷暖房料 100/人
国立能登青少年交流の家	無 料	朝食 400、夕食 650 昼食 550	シーツ洗濯料 160/人
小松市立大杉青年の家	1 泊 600 2 泊 500	朝食 450、夕食 550 昼食 500	
能美市根上青年の家	高校生以下 570 (市外 680) 大学・一般 900 (市外1,000)	朝食 500、夕食 910 昼食 570	冷暖房料 100/人 シャワー 200/人
キゴ山ふれあいの里研修館	青 少 年 520 一 般 1,050	朝食 400、夕食 800 昼食 500	ピ ア ノ 310/台 ス キ ー 520/組

一方、主催事業の実施状況は次表のとおりであり、延参加者数の多くは屋外体験事業に係るものとなっている。

(単位：回・人)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
			増減比率	増減比率		
実 施 回 数	8	9	12.5	8	△11.1	3
延 参 加 者 数	4,503	4,961	10.2	5,455	10.0	573
主な事業名及び参加者数	我が家の畑 延4,135人 キゴ山お正月 入門 88人 秋のキゴ山自 然体験 85人 春のキゴ山自 然体験 44人 キゴ山大根ず し 40人	我が家の畑 延4,577人 キゴ山お正月 入門 93人 春のキゴ山自 然体験 61人 歩くスキーで キゴ山めぐり 41人 キゴ山手作り みそ 40人		我が家の畑 延4,577人 キゴ山お正月 入門 81人 初夏の医王山 登山 68人 秋の自然体験 47人 キゴ山大根ず し 40人		我が家の畑 延479人 初夏の医王山 登山 56人 植物ウォッチ ング 38人

(4) 管理運営収支の状況

管理運営に係る収支の状況は次表のとおりであり、平成17年度の支出額は94,344,802円で、このうち職員等人員費が71,850,218円(構成比76.2%)、建物維持管理等の運営経費が22,494,584円(構成比23.8%)となっている。一方、収入額は6,607,825円であり、このうち施設の利用料が6,138,162円となっており、食事料については利用者が食堂運営業者に直接支払う方式をとっているため、使用料には含まれていない。

(単位：円・%)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月			
			増減比率	増減比率				
支出	運営経費	報 償 費	210,000	238,000	13.3	182,000	△23.5	56,000
	消費品費	3,674,778	3,666,452	△0.2	4,049,615	10.5	668,180	

支出	運営経費	光熱水費	5,234,704	5,311,265	1.5	5,334,125	0.4	1,616,192
		修繕料	2,742,610	4,547,640	65.8	3,464,363	△23.8	1,795,642
		委託料	5,884,272	6,917,365	17.6	6,299,262	△8.9	4,966,775
		その他	4,692,180	3,349,585	△28.6	3,165,219	△5.5	2,777,170
		計	22,438,544	24,030,307	7.1	22,494,584	△6.4	11,879,959
	職員等人件費	74,260,677	77,125,782	3.9	71,850,218	△6.8	24,859,367	
	計(ア)	96,699,221	101,156,089	4.6	94,344,802	△6.7	36,739,326	
収入	使用料	7,571,739	7,483,829	△1.2	6,138,162	△18.0	2,724,326	
	その他	425,075	398,758	△6.2	469,663	17.8	-	
	計(イ)	7,996,814	7,882,587	△1.4	6,607,825	△16.2	2,724,326	
差引(イ) - (ア)		△88,702,407	△93,273,502	5.2	△87,736,977	△5.9	△34,015,000	

(5) 施設管理及び安全対策等

施設の維持管理について、宿泊棟の外部にコーキングがはがれた箇所が、また、体育館の屋根側面には錆が発生している箇所が見受けられた。

施設の安全対策について、年2回火災時の避難訓練を実施しているが、事故や急病人発生等の緊急時対応マニュアルは作成されていない。

バリアフリーの対応状況は、エレベーターの設置がなく、しかも身体障害者用トイレは2階に設置されているが1階には設置されておらず、不十分なものとなっている。

一方、青年団体や成人団体の研修が多いにもかかわらず、宿泊室は2段ベッドの8人室であり、研修に必要なインターネット利用設備も整備されていないなど、施設・設備が旧式化している。

(6) 利用促進対策等

関係団体へパンフレットを送付するほか、主催事業を新聞広報に掲載している。

また、利用者ニーズについては、アンケートで利用者の要望・意見を把握している。

3 キゴ山少年自然の家

(1) 概況

設置の目的	自然に親しむ活動、集団宿泊生活を通して、心身ともに健全な少年の育成を図るため
所在地	平等本町カ13番地1
開設年月日	平成10年10月23日(金沢市少年自然の家は昭和51年6月1日)
施設規模	鉄筋コンクリート造2階建 4,631m ² (天体観察センター含む)、 敷地面積 51,368m ² (天体観察センター含む)
主要施設	管理棟、宿泊棟、天体観察棟、プレールーム、どんぐり広場、日本海広場、 戸室キャンプ場、マレットゴルフ場
休館日	月曜日(その日が休日に当たるときは、その日の翌日)、12月29日～1月3日
使用対象者	成人の活動指導者が引率する8名以上の次の団体 ・小・中学校の児童、生徒 ・少年団体(子ども会、少年連盟、ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団など) ・その他教育委員会が適当であると認めた者
使用料	宿泊使用料300円(金沢市内の団体は無料) その他、シーツ洗濯料、食事料、野外炊飯用薪代等は別途
使用申込の方法	電話で仮申込みをし、使用申請書を提出する。

(2) 管理運営体制

職員の体制は、館長以下職員7名、非常勤職員1名、キゴ山天体観察センターとの兼務職員2名の10人体制であり、このうち3名は研修指導員である。

なお、宿泊利用のある日の夜間は職員2名が当直にあたり、宿泊利用のない開館日の夜間及び休館日は業者委託による機械警備となっている。

(3) 利用状況

利用状況は次表のとおりであり、利用団体数・利用者数ともに、近年、増加している。

平成17年度の利用態様をみると、日帰り利用者が28.0%、宿泊利用者が72.0%となっており、主催事業を除く

宿泊利用者数を団体別でみると、学校（57.6%）、少年団体及び子供会（28.1%）、社会教育関係団体（5.0%）、その他（9.3%）となっている。

また、宿泊日数別では、1泊2日の利用者数が宿泊者延人数の87.6%を占めている。

日帰り・宿泊別利用状況

(単位：人・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月	
日帰り 研修	受入事業	学 校	1,201	1,882	56.7	2,732	45.2	185
		小 学 校	1,150	1,705	48.3	2,300	34.9	163
		中 学 校	51	177	247.1	432	144.1	22
		そ の 他	-	-	-	-	-	-
		少年団体、子供会	243	275	13.2	358	30.2	247
		社会教育関係団体	207	58	△72.0	14	△75.9	61
		そ の 他	65	179	175.4	201	12.3	151
		小 計	1,716	2,394	39.5	3,305	38.1	644
	主 催 事 業	176	188	6.8	90	△52.1	41	
	計	1,892	2,582	36.5	3,395	31.5	685	
宿泊 研修	受入事業	学 校	3,794	4,617	21.7	4,791	3.8	2,898
		小 学 校	3,606	4,035	11.9	4,102	1.7	2,206
		中 学 校	188	582	209.6	689	18.4	692
		そ の 他	-	-	-	-	-	-
		少年団体、子供会	2,468	1,711	△30.7	2,338	36.6	834
		社会教育関係団体	970	752	△22.5	416	△44.7	245
		そ の 他	443	458	3.4	772	68.6	137
		小 計	7,675	7,538	△1.8	8,317	10.3	4,114
	主 催 事 業	236	288	22.0	392	36.1	128	
	計	7,911	7,826	△1.1	8,709	11.3	4,242	
合 計	9,803 (177団体)	10,408 (190団体)	6.2	12,104 (205団体)	16.3	4,927 (79団体)		

宿泊日数別利用状況

(単位：人・%)

区 分	平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月
1 泊 2 日	7,397	7,459	0.8	8,230	10.3	3,983
2 泊 3 日	275	229	△16.7	361	57.6	187
3 泊 4 日	195	73	△62.6	24	△67.1	-
4 泊 5 日	-	23	-	94	308.7	-
5 泊 6 日以上	44	42	△4.5	-	△100.0	-
宿泊者延人数	8,769	8,492	△3.2	9,400	10.7	4,357

宿泊利用の状況を県内類似施設と比べると、次表のとおり、比較的良好な水準にある。

平成17年度における県内類似施設の利用状況

(単位：日・人・%)

区 分	開館日数	宿泊者延人数	宿泊利用率	備 考
石川県立能登少年 自然の家	308	12,635 (平均宿泊数1.70泊/人)	20.5	宿泊定員 200人
キゴ山少年自然の家	308	9,400 (平均宿泊数1.08泊/人)	15.1	〃 202人
石川県立白山ろく 少年自然の家	308	9,191 (平均宿泊数1.27泊/人)	14.9	〃 200人

石川県立鹿島少年自然の家	308	4,994 (平均宿泊数1.23泊/人)	8.1	〃 200人
--------------	-----	-------------------------	-----	--------

(注) 宿泊利用率：宿泊者延人数 ÷ (宿泊定員 × 開館日数)

一方、本市内の小・中学生が宿泊研修においてキゴ山少年自然の家を利用する割合は、次表のとおり、宿泊者実人数では約50%、宿泊者延人数では約40%となっている。

平成17年度市内小・中学校の宿泊研修利用施設の状況 (単位：人)

施設名	学校数	宿泊者実人数 (予定)	宿泊者延人数 (予定)
キゴ山少年自然の家 (実数)	43小・中学校	3,942	3,942 (平均宿泊数1.00泊/人)
市外の宿泊研修利用施設	44小・中学校	3,980	6,138
石川県立能登少年自然の家	21小学校	1,868	3,622 (平均宿泊数1.94泊/人)
石川県立白山ろく少年自然の家	6小学校	468	671 (平均宿泊数1.43泊/人)
五箇山青少年旅行村・合掌の里	3中学校	632	632 (平均宿泊数1.00泊/人)
国立能登青少年交流の家	5小学校	407	608 (平均宿泊数1.49泊/人)
小松市立少年自然の家	9小学校	605	605 (平均宿泊数1.00泊/人)
計	87小・中学校	7,922	10,080

(注) 宿泊研修実施前に提出される「学校以外の施設の利用届」による集計であり、予定数である。

なお、宿泊料等を県内の類似施設と比較すると、次表のとおり、それ程大きな差異はみられない。

県内類似施設の利用料金 (単位：円)

区分	宿泊料	食 事 料	そ の 他
石川県立白山ろく少年自然の家	無 料	朝食 350、夕食 640 昼食 470	冷暖房料 100/人 寝具料 200/人
石川県立鹿島少年自然の家	無 料	朝食 350、夕食 640 昼食 470	冷暖房料 100/人 寝具料 200/人
石川県立能登少年自然の家	無 料	朝食 350、夕食 640 昼食 470	冷暖房料 100/人 寝具料 200/人 小型カヌー 200/隻
小松市立少年自然の家	小・中学生 無料 (市外 360) 少年団体 無料 (市外 590)	朝食 400、夕食 500 昼食 450	寝具料 200/人
キゴ山少年自然の家	無 料 (市外の団体 300)	朝食 400、夕食 700 昼食 400	シーツ洗濯料 230/人

一方、主催事業の実施状況は、次表のとおりとなっている。

(単位：回、人・%)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
			増減比率	増減比率		
実施回数	16	16	0.0	13	△18.8	5
延参加者数	412	476	15.5	482	1.3	169
主な事業名及び参加者数	ジュニアチャレンジクラブ (8回) 120人 親子自然体験塾	親子自然体験塾 (2回) 116人 キゴ山チャレンジクラブ		親子自然体験塾 (4回) 254人 キゴ山わんぱく冒険隊		親子自然体験塾 (2回) 119人 キゴ山わんぱく冒険隊

主な事業名及び参加者数	(2回) 105人	(7回) 109人 キゴ山サマー チャレンジス クール 96人	(5回) 89人 キゴ山サマー チャレンジス クール 94人 キゴ山宇宙塾 (3回) 45人	(2回) 41人 キゴ山宇宙塾 (1回) 9人

(4) 管理運営収支の状況

管理運営に係る収支の状況は、次表のとおりであり、平成17年度の支出額は94,009,527円で、このうち職員等人件費が64,500,973円（構成比68.6%）、建物維持管理等の運営経費が29,508,554円（構成比31.4%）となっている。一方、収入額は4,580,499円で、このうち市外団体の利用等に伴う使用料が762,474円である。その他の収入のほとんどはシーツの洗濯料の実費徴収や親子自然体験塾受講料収入である。食事料については、利用者が食堂運営業者に直接支払う方式をとっており、収入には含まれていない。

(単位：円・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月	
支出	運営経費	報 償 費	401,000	792,600	97.7	443,000	△44.1	10,000
		消耗品費	3,460,689	4,938,557	42.7	5,480,995	11.0	2,430,364
		光熱水費	5,771,121	5,906,638	2.3	5,985,245	1.3	2,263,525
		修 繕 料	3,150,474	1,774,733	△43.7	1,488,255	△16.1	128,407
		委 託 料	12,071,984	10,040,093	△16.8	10,340,322	3.0	1,297,680
		そ の 他	8,265,185	6,576,056	△20.4	5,770,737	△12.2	1,747,140
		計	33,120,453	30,028,677	△9.3	29,508,554	△1.7	7,877,116
	職員等人件費	74,546,855	68,387,541	△8.3	64,500,973	△5.7	19,763,929	
	計 (ア)	107,667,308	98,416,218	△8.6	94,009,527	△4.5	27,641,045	
収入	使 用 料	738,193	710,277	△3.8	762,474	7.3	448,373	
	そ の 他	2,180,182	3,737,188	71.4	3,818,025	2.2	1,525,520	
	計 (イ)	2,918,375	4,447,465	52.4	4,580,499	3.0	1,973,893	
差引 (イ) - (ア)		△104,748,933	△93,968,753	△10.3	△89,429,028	△4.8	△25,667,152	

(5) 施設管理及び安全対策等

施設の維持管理の状況について、早急に修繕を要する破損箇所は見あたらなかった。

施設の安全対策について、年2回避難訓練を実施しており、急病人が発生したときの対応として養護師が配置されており、病院搬送等のアドバイスができる体制となっているが、事故等緊急時対応マニュアルは作成されていない。

バリアフリーの対応として、宿泊棟には、1階、2階ともに身体障害者用トイレが設置されていたほか、玄関から宿泊棟への接続部分はスロープとなっており、配慮がなされていた。

(6) 利用促進対策等

市内や近隣市町村の小・中学校には事業開催案内チラシを配布するほか、毎年、指導員が小・中学校を訪問し、施設案内と利用依頼を行っている。

また、アンケートにより引率者、指導者の要望・意見を把握し、管理運営に資するとともに、主催事業の成果や受入事業の効果についての事業報告書を作成し、新たなプログラム作成の資料とし活用しているほか、平成17年度からは、少年団体の指導者研修を実施している。

4 キゴ山天体観察センター

(1) 概況

設 置 の 目 的	宇宙についての理解を深めることにより、創造性豊かな子どもの育成を図るとともに、広く市民の生涯学習の振興に資するため
所 在 地	平等本町カ13番地1

人件費が19,048,021円（構成比52.9%）、建物維持管理費や展示機器リース料等の運営経費が16,961,265円（構成比47.1%）となっている。一方、収入額は1,980,610円で、このうちプラネタリウム観覧等による使用料が1,724,700円である。

(単位：円・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
				増減比率	増減比率		
支出	報 償 費	211,732	163,000	△23.0	148,066	△9.2	－
	消耗品費	1,970,432	1,050,618	△46.7	1,217,744	15.9	－
	光熱水費	－	－	－	－	－	61,186
	修 繕 料	－	1,497,300	－	409,500	△72.7	－
	委 託 料	7,928,050	8,360,750	5.5	7,461,500	△10.8	－
	そ の 他	13,825,484	8,695,288	△37.1	7,724,455	△11.2	4,341,058
	計	23,935,698	19,766,956	△17.4	16,961,265	△14.2	4,402,244
	職員等人件費	18,033,922	18,533,723	2.8	19,048,021	2.8	6,597,551
計(ア)	41,969,620	38,300,679	△8.7	36,009,286	△6.0	10,999,795	
収入	使 用 料	1,929,100	1,615,700	△16.2	1,724,700	6.7	873,000
	そ の 他	363,440	255,910	△29.6	255,910	0.0	－
	計(イ)	2,292,540	1,871,610	△18.4	1,980,610	5.8	873,000
差引(イ)－(ア)		△39,677,080	△36,429,069	△8.2	△34,028,676	△6.6	△10,126,795

(5) 施設管理及び安全対策等

施設の維持管理の状況について、早急に修繕を要する破損箇所は見あたらなかった。

安全対策として、年2回避難訓練を実施している。

バリアフリーの対応として、身体障害者用トイレ、エレベーター、階段の手摺りが設置されているほか、4階の天体観察室に登るための専用リフトやプラネタリウム室に車椅子対応の座席を設置するなど、配慮がなされていた。

(6) 利用促進対策等

引率者、指導者の要望・意見をアンケートにより把握し、管理運営に活かしている。

5 キゴ山自然学習館

(1) 概況

設置の目的	キゴ山の豊かな自然環境を市民の自然とのふれあいの場として保全・整備し、自然学習を通じて、自然保護の心を育むため
所在地	俣町テ甲18番地
開設年月日	平成5年6月6日
施設規模	鉄筋コンクリート造平屋建 612㎡
主要施設	研修ホール、展示ホール、体験学習室、資料研究室
開館時間	午前9時～午後4時
休館日	月曜日（その日が休日に当たるときは、その日の翌日）、12月29日～1月3日
使用対象者	誰でも利用可能
使用料	無料
使用申込の方法	団体で研修ホールを貸切の場合のみ事前に申請が必要となる。

(2) 管理運営体制

職員の体制は、非常勤職員1人体制である。

(3) 利用状況

利用状況は、次表のとおりである。

なお、12月～3月の利用者の多くは、隣接する医王山スキー場の利用者が休憩所として利用することによるものである。

事業別利用状況

(単位：人・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
				増減比率	増減比率		
受入事業参加者数・一般利用者数	小、中学生	4,803	5,040	4.9	5,523	9.6	1,511
	幼 児	2,660	4,243	59.5	3,792	△10.6	215
	大 人	5,396	7,530	39.5	7,091	△5.8	1,400
	計	12,859	16,813	30.7	16,406	△2.4	3,126
主催事業 (学習会・ 講習会)参加者数	小、中学生	34	47	38.2	74	57.4	—
	幼 児	21	12	△42.9	5	△58.3	—
	大 人	173	180	4.0	160	△11.1	—
	計	228	239	4.8	239	0.0	—
合 計		13,087	17,052	30.3	16,645	△2.4	3,126

月別利用状況

(単位：人・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
				増減比率	増減比率		
利 用 者 数		12,859	16,813	30.7	16,406	△2.4	3,126
内 訳	4月	462	497	7.6	1,075	116.3	562
	5月	1,053	953	△9.5	1,332	39.8	1,391
	6月	1,048	943	△10.0	713	△24.4	662
	7月	1,087	985	△9.4	753	△23.6	511
	8月	500	442	△11.6	377	△14.7	
	9月	1,149	621	△46.0	733	18.0	
	10月	823	345	△58.1	622	80.3	
	11月	251	265	5.6	235	△11.3	
	12月	433	215	△50.3	952	342.8	
	1月	1,863	4,876	161.7	4,294	△11.9	
	2月	3,485	5,530	58.7	4,525	△18.2	
	3月	705	1,141	61.8	795	△30.3	

一方、主催事業の実施状況は、次表のとおりとなっている。

主催事業の実施状況

(単位：回・人・%)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度 4月～7月	
			増減比率	増減比率		
実 施 回 数	8	8	0.0	7	△12.5	—
延 参 加 者 数	228	239	4.8	239	0.0	—
主な事業名及び参加者数	きのこウォッチング 97人 植物ウォッチング(2回) 71人 自然観察会(2回) 33人	きのこウォッチング 60人 植物ウォッチング(2回) 56人 川の生き物調べ 45人 薬草ウォッチング 25人		植物ウォッチング(2回) 58人 川の生き物調べ 45人 戸室山自然観察会 26人 キゾ山自然観察会 23人		

(4) 管理運営収支の状況

管理運営に係る収支の状況は、次表のとおりであり、平成17年度の支出額は11,194,067円で、このうち職員等

人件費が6,944,435円（構成比62.0%）、建物維持管理等の運営経費が4,249,632円（構成比38.0%）となっている。

（単位：円・%）

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月	
支出	運営経費	報 償 費	283,500	280,000	△1.2	255,500	△8.8	-
		消耗品費	857,491	655,744	△23.5	499,697	△23.8	60,438
		光熱水費	696,460	618,056	△11.3	593,902	△3.9	140,248
		修 繕 料	388,836	1,056,289	171.7	119,000	△88.7	-
		委 託 料	1,778,366	3,441,776	93.5	1,663,351	△51.7	1,490,160
		そ の 他	1,127,290	1,118,436	△0.8	1,118,182	△0.0	1,054,270
		計	5,131,943	7,170,301	39.7	4,249,632	△40.7	2,745,116
	職員等人件費	6,958,013	6,936,102	△0.3	6,944,435	0.1	1,336,892	
計（ア）	12,089,956	14,106,403	16.7	11,194,067	△20.6	4,082,008		
収 入（イ）		-	-	-	-	-	-	
差 引（イ）-（ア）		△12,089,956	△14,106,403	16.7	△11,194,067	△20.6	△4,082,008	

(5) 施設管理及び安全対策等

施設の維持管理の状況について、早急に修繕を要する破損箇所は見あたらなかった。

(6) 利用促進対策等

主催事業参加者の要望・意見をアンケートにより把握し、事業計画に活かしている。

6 土子原こども野外広場

(1) 概況

設置の目的	豊かな自然環境の中で、自然観察、野外の集団宿泊等の活動による体験を通して青少年の自主性、協調性、創造性等を育むため
所在地	曲子原町ソ13番地
開設年月日	平成12年8月
施設規模	面積 約1.6ha
主要施設	宿泊棟（旧土子原小学校舎 約40名収容）、野外炊事場、キャンプファイヤー広場、グラウンド（5,000㎡）、自然苑
利用期間	4月～11月
使用対象者	金沢市在住で青少年（小・中・高校生）を含む15名以上の青少年団体
使用料	無料
使用申込の方法	使用申請書を提出する

(2) 管理運営体制

無人であるが、地元町会で構成する協議会に施設点検等維持管理（利用中・利用後の見回り、施設清掃、利用者の緊急対応）を委託している。

(3) 利用状況

利用状況は、次表のとおりとなっている。

（単位：人・%）

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月
利用者数等		2,688 (35団体)	2,119 (35団体)	△21.2	2,501 (39団体)	18.0	1,286 (21団体)
利用者別内訳	小学生	1,289	965	△25.1	1,178	22.1	556
	中学生	266	137	△48.5	143	4.4	95
	高校生	98	43	△56.1	59	37.2	41
	その他	1,035	974	△5.9	1,121	15.1	594
4月		64	110	71.9	226	105.5	235

月別内訳	5月	396	329	△16.9	329	0.0	350
	6月	289	48	△83.4	94	95.8	216
	7月	576	401	△30.4	457	14.0	485
	8月	621	476	△23.3	565	18.7	
	9月	307	275	△10.4	183	△33.5	
	10月	235	320	36.2	387	20.9	
	11月	200	160	△20.0	260	62.5	

(注) 利用者数は延人数である。

(4) 管理運営収支の状況

管理運営に係る収支の状況は、次表のとおりであり、平成17年度の支出額は1,447,530円で、職員等人件費の支出はなく、全てが管理委託等の運営経費である。

(単位：円・%)

区 分		平成15年度	平成16年度	増減比率	平成17年度	増減比率	平成18年度 4月～7月
支出	報償費	-	-	-	-	-	-
	消耗品費	4,000	9,460	136.5	19,582	107.0	-
	光熱水費	226,024	169,608	△25.0	189,231	11.6	49,892
	修繕料	294,000	187,845	△36.1	78,498	△58.2	351,750
	委託料	991,205	991,205	0.0	943,169	△4.8	200,000
	その他	56,925	101,550	78.4	217,050	113.7	100,800
	計(ア)	1,572,154	1,459,668	△7.2	1,447,530	△0.8	702,442
収 入(イ)		-	-	-	-	-	-
差 引(イ) - (ア)		△1,572,154	△1,459,668	△7.2	△1,447,530	△0.8	△702,442

(5) 施設管理及び安全対策等

施設の維持管理の状況について、早急に修繕を要する破損箇所は見あたらなかった。

安全対策として、ハチ刺され被害を防止するための調査・駆除を実施している。

バリアフリーの対応として、宿泊棟の玄関にスロープ、棟内のトイレに手摺りがあり、配慮がなされていた。

(6) 利用促進対策等

利用者ニーズを把握するためのアンケート等を行っていない。

7 監査の結果

青少年教育施設の管理運営及びそれに係る財務事務は、適正に行われていると認められた。

8 監査結果に添える意見

施設の設置目的に添い、効率的かつ効果的に管理運営されるよう、次の事項を意見として申し添える。

(1) 長町研修館の管理運営

設置目的である市民の自主的な学習、研修、文化活動実施が定着し、貸館事業が主流であり主催事業が極くわずかとなっていることから、今後は、市民利用団体との協働を進めつつ、指定管理者制度を導入するなど、より効率的・効果的な運営を図ることが望まれる。

(2) キゴ山ふれあいの里研修館の管理運営

近年、利用が減少しているので、施設の管理運営の在り方について、時代にあった快適な宿泊・学習環境づくりや良好な立地環境を活かした特色あるプログラムの提供、効率的で効果的な運営方法などを総合的に検討し、幅広い層の市民利用に応えられる魅力的な施設へ転換することが望まれる。

(3) キゴ山少年自然の家の管理運営

施設の利用状況は順調な推移をみており、県内類似施設と比べても良好な水準にあるものの、市内小・中学校の利用が十分とはいえ、利用促進を図る余地があると思われることから、これまでも増して、周辺の自然環境や施設を活かした魅力的な研修プログラムを開発するなど、利用の促進を図ることが望まれる。

(4) キゴ山天体観察センターの管理運営

利用状況が、近年、減少傾向にあることから、隣接のキゴ山少年自然の家と連携し、利用促進を図ることが望まれ

(5) キゴ山自然学習館の管理運営

立地環境を活かした個性的な事業が少ないので、自然愛護団体等との協働や指定管理者制度の導入も検討しながら、効率的・効果的な管理運営を進めることが望まれる。

(6) 土子原こども野外広場の管理運営

利用が十分とはいえない状況にあるので、今後、施設及び施設活用プログラムを積極的に紹介し、周辺の自然歴史情報を発信するなどして、利用促進を図ることが望まれる。

農 業 委 員 会 告 示

●金沢市農業委員会告示第16号

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第22条第4項において準用する同法第21条第1項の規定により、第593回金沢市農業委員会農地部会を招集し、金沢市農業委員会会議規則（昭和36年農業委員会規則第3号）第12条において準用する同規則第3条第1項の規定により、次のとおり告示します。

平成18年11月21日

金沢市農業委員会
農地部会長 島 田 傳 治

1 日時

平成18年11月28日午後4時

2 場所

金沢市議会全員協議会室

3 議案

- (1) 農地法（昭和27年法律第229号）第3条第1項に規定する許可の申請について
- (2) 農地法第5条第1項に規定する許可の申請に対する意見決定について
- (3) 相続税の納税猶予に関する適格者証明願について
- (4) 非農地証明願について
- (5) 農用地利用集積計画の決定に対する意見決定について

●金沢市農業委員会告示第17号

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第22条第4項において準用する同法第21条第1項の規定により、第7回金沢市農業委員会農政振興部会を招集し、金沢市農業委員会会議規則（昭和36年農業委員会規則第3号）第12条において準用する同規則第3条第1項の規定により、次のとおり告示します。

平成18年11月21日

金沢市農業委員会
農政振興部会長 米 澤 邦 明

1 日時

平成18年11月28日午後4時30分

2 場所

金沢市議会全員協議会室

3 議案

- (1) 金沢市農業振興地域整備計画の変更に関する意見決定について

平成18年(2006年)11月21日 印刷	発行人	金 沢 市
平成18年(2006年)11月21日 発行	発行所	金 沢 市 役 所
定価 120円	印刷所 石川県金沢市黒田1丁目65番地	カネモト印刷(株)